

2013年11月14日

会員各位

日本経営倫理学会
会長 高橋 浩夫

第22回研究発表大会のお知らせと発表者公募の件

2014年度研究発表大会は6月中旬の土日に2014年度の総会と併せて青山学院大学（東京・表参道）にて開催いたします。

統一論題は「**プロフェッション教育と経営倫理**」に決定いたしました。プロフェッションとは、かつて聖職者・医師・弁護士の三大職種を指すものでしたが、ミラーソンは、プロフェッションの定義として、①体系的理論、②訓練、③権威、④倫理、⑤奉仕の方向づけ、⑥団体という諸要件を見出しました。現代の企業社会においては、企業経営の中心的な担い手となる経営者、これをサポートする会計、法律等の専門家に対して倫理的な規律も強く求められます。こうしたプロフェッションを育成するのが専門職大学院であり、深い学識と卓越した能力を培った人材による経営倫理の向上が期待されてきました。しかし、企業社会と教育機関との相互理解は不十分であり、経営倫理の向上に向けられた教育機関における取り組みには、まだまだ多くの課題が残されています。経営倫理を高揚し、企業社会を現実に変革していくために、専門職大学院を含むプロフェッション教育はどのように貢献できるのか、日本と海外の違い、現状の問題点から改革の方向性に至るまで等、数多くの論点が想定されます。厳しい状況にある専門職大学院も多い昨今ですが、企業社会、教育現場等、多方面から経営倫理の向上のために活発な議論を期待しています。

研究発表者の選考は、本年度と同様、公募と部会推薦の二本立てとし、合計25名程度の発表を予定しております。発表を希望される方は下記要領に従ってご応募ください（参照：【別添1】論文規程）。

記

1. 応募資格：本学会会員。ただし本学会が発表を依頼する場合は除く。
2. 応募および要旨・予稿提出締切日：2014年3月14日（金曜日）（14日消印有効）
締切日以降は受付不可となりますのでお気をつけください。
要旨および予稿は電子データ（CD、FD等）と出力原稿4部を提出してください。
 - 1) 発表区分
 - ① 「統一論題」か「自由論題」か、ご希望の発表区分を明記してください。
 - ② いずれの区分でご発表いただくかについては、応募者数や発表要旨の内容を見て大会実行委員会が判断しますので、ご希望に沿えない場合もあります。
 - 2) 発表要旨：
 - ① 連絡先、発表題名、800字程度の「発表要旨」を添えてお申込みください。
 - ② 問題意識、発表テーマを取り上げた理由、論点、結論と主張などの内容を盛り込んで簡潔に述べてください。
 - ③ 論文審査委員会による予稿原稿審査のため4部提出してください。
 - 3) 予稿原稿：
* 「予稿」はそのままコピーして『予稿集』として編集しますので、以下の要領に従ってください。
 - ① 論文審査委員会による予稿原稿審査のため4部提出。
 - ② B5判用紙を縦にして横書き、片面のみ使用。
 - ③ 字数・行数および文字フォントは、38字・38行および10.5ポイントとする。
 - ④ 原稿本文はワープロ書き5頁以内。図・表は本文とは別にし、2頁以内。
 - ⑤ 原稿の最初の行中央に論題を、2行目に所属（勤務先）、氏名（括弧でふりがなをつける）を書き、一行あけてから本文を開始。
 - ⑥ 左マージンを20ミリ以上、下マージンを25ミリ以上とる。

3. 応募先

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5-4 桜井ビル3F
日本経営倫理学会 第22回研究発表大会実行委員会

◇発表希望者多数の場合は、実行委員会で調整させていただきますので、あらかじめご承知おきください。
◇調整に関するお問い合わせは事務局ではお答えできませんので、併せてご承知おきください。

以上